

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成21年度 第4回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)	
開 催 日 時		平成21年7月22日(水) 10時00分～12時05分	
開 催 場 所		川西市役所 4階 庁議室	
出 席 者	委 員	生田議長、小柳副議長、後藤委員、佐道委員、武村委員、 渡邊委員、野原委員、廣末委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	牛尾教育振興部長、中塚総務調整室長、松岡教育支援室 長、谷社会教育室長、渡瀬中央公民館長、藤巴中央図書館 長、藪野子育て室長、小田中央公民館主幹、中定生涯学習 センター所長、宮脇社会教育室主幹、片山主査 計11名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第		1. 報 告 (1) 兵庫県社会教育委員協議会 総会・研修会について (2) 阪神北地区社会教育委員協議会 第2回理事会につ いて (3) その他 2. 議 題 (1) 年間テーマ 「地域教育の向上をめざした仕組づくり」 ～人をつながる場づくり～ 3. その他	
会議結果		別紙のとおり	

議長	第4回社会教育委員の会を開会する。
事務局	挨拶
議長	<p>1. 報告</p> <p>(1) 兵庫県社会教育委員協議会 総会・研修会について 平成21年7月8日(水) 午後1時30分～ ホテル北野プラザ六甲荘 議長・副議長・武村委員及び佐道委員より報告</p> <p>(2) 阪神北地区社会教育委員協議会 第2回理事会について 平成21年7月17日(金) 午後1時30分～ 川西市中央公民館 3階 講座室 議長及び事務局より報告</p> <p>(3) 放課後子どもプラン運営委員会(6月24日)及び青少年センターの運営委員会(6月26日)について 渡邊委員より報告</p>
議長	<p>議題に入る。</p> <p>(1) 年間テーマ「地域教育の向上をめざした仕組づくり」～人をつながる場づくり～について</p> <p>先月は議事録のとおり論じられ、今回は、社会教育施設等を中心にした地域教育の面で「場づくり」について論議して行きたいと思う。 公民館について説明を受けたい。</p>
事務局	<p>地区館も含めて10館あり、総員72名(職員16名・嘱託職員11名・再任用職員3名及び臨時職員42名)で運営している。(その内、社会教育主事は3名)</p> <p>その内8館は、行政センターとコミュニティーセンターを併設しており、その運営も行い、同時に図書室専任の職員もいる。</p> <p>平成21年度の公民館事業の当初計画では、204講座で878回を計画している。講座のアンケート調査の実施し、今後のための分析を行う予定である。</p> <p>1年間を前期後期に分け、講座計画を立て実施している。</p> <p>平成20年度の実績は、223講座、925回開催し、述べ参加者は、30,764人参加になっている。</p> <p>高齢者大学は、平成19年度に1学科増設し、平成20年</p>

	<p>度は、定員を増員し、今年度は、1学科増設している。</p> <p>公民館の登録グループは、今年度4月時点で、603グループで、12,736人になり、利用数は、16,892回で、延べ人数は、360,903人になる。</p> <p>公民館図書室利用状況は、貸出冊数は、平成18年度の、81,033冊が19年度には、104,899冊に増加し、今年度からは、従来の水・土曜日の午後に加え、月曜日の午後も貸出を行っている。</p>
議長	<p>引き続き、生涯学習センターについて説明を受けたい。</p>
事務局	<p>平成5年度に開館し、その年度は、各地域で活動している生涯学習グループに貸館業務を行い、翌年度から生涯学習短期大学レフネックを開講している。</p> <p>当初からユニークな施策として、近隣市から注目され、開講時は、45人学級で始めたのが、現在は、70名に増やしても募集倍率が3倍前後になる学科もあり、近隣市からの視察も多い。</p> <p>現在、年間で80講座を実施しているが、募集の段階で抽選にもれる人も多いため、オープン講座や、課外講座を実施し、総計で115講座を実施している。</p> <p>レフネックに参加される方は、積極的な方が多く、平成16年度は37%が、現在は、44%が地域教育等に参加されている。</p> <p>レフネックでは、学生活動のために、地域毎に10人程度のグループにしているため、卒業後もそのグループでボランティア活動等をされている例が多い。</p> <p>貸館については、当初37グループであったものが現在は、94グループになり、館の稼働率も92%前後である。</p> <p>その多くのグループが地域で活動している。</p>
議長	<p>引き続き、中央図書館について説明を受けたい。</p>
事務局	<p>平成3年に開館し、平成20年度は、年間287日開館し、個人貸出や団体貸出を行っている。</p> <p>図書館と地域との係わりについては、対象者は地域の住民であるため、図書館活動全てが地域とのかかわりを持っており、図書館の設置目的も「市民等の利用に供し、生涯学習を支援する。」となっている。</p> <p>地域振興関係については、地域の発展を支える情報拠点として、地域の振興と活性化を支援する機関として各種事業の展開が求められている。</p> <p>同時に、子ども読書活動の推進の要綱により、「子ども読</p>

	<p>書サポーター事業」「児童書団体貸出の促進」等に取り組んでいる。</p> <p>児童書団体貸出の推進では、市内の学校等に対し平成5年度から実施し、平成20年度からは、利用者の希望に応じ、図書館員が本を選定する「団体貸し出しのセットパック方式」を開始している。子ども読書サポーター事業では、平成18、19年度では養成講座を実施し、平成20年度は、現在ボランティアで活動中の方の技術向上を目的にステップアップ講座を実施した。</p> <p>その他としては、トライアルウィーク、小学校3年生の社会見学及び、教職員の新任体験研修等の受入、小学生の図書館員1日体験を行っている。</p> <p>身体障害者へは郵送貸出等を、視覚障害者へは対面朗読、録音図書や点字図書の貸出を行っている。</p> <p>なお、録音図書の作成には、ボランティアの養成が必要なため、養成講座を行っている。</p> <p>地域振興・活性化への支援活動として、今年の6月から地域振興コーナーを設置し、ふるさと川西に関する地域情報を広く提供し、地域の課題・地域活性化の支援を行っている。</p> <p>また、地域資料として、地域の機関が発行するパンフレットの収集や、ビジネス支援等についても検討している。</p> <p>今後は、図書館が、地域の発展を支える情報拠点として、地域の文化、観光産業、各種団体の活動等を積極的に紹介し、情報発信を行って行きたい。</p>
議長	<p>現状についての、問題意識を持つての説明のため、論議するのに十分な情報であった。</p> <p>各施設が、一生懸命取り組んでいることを理解し、客観的に論議する必要があると思う。</p>
A 委員	<p>レフネックに参加された方の半数近くが地域教育に参加されていることがすごいと思う。</p> <p>社会教育施設と学校と地域と結ぶことが出来るのは、公共だから可能なのであり、民間委託では大事なことが失われやすい。</p> <p>公共施設で、一番大切なことは、「ABC：当たり前のことを、馬鹿みたいに、こつこつと。」であり、このことを忘れてはいけない。</p> <p>公共だからこそ出来ることを見直すべきである。</p>
議長	<p>客観的に見て、すごい指摘である。</p>
B 委員	<p>今話を聞いて、83歳の先生の話思い出した。</p>

	<p>「経済的な効率のみを追求していたことが現在の社会につながっているのではないか。」と言われていた。</p> <p>「ABC：当たり前のことを、馬鹿みたいに、こつこつと。」は、経済的には上向きではないが、大切ものは、時間をかけゆっくりと、こつこつ続けるのが大事であり、経済と伴に考えるとなかなか一緒になっていかない。</p>
A 委員	<p>最後は、現場であり、委託事業が始まった現場では、やる気が変わってきており、やる気の意識が変わるだけで雰囲気がかわるため、やる気を持ってもらうことが大切と思う。</p> <p>各種の養成講座を実施しても、受講した人が、どのような所で活躍されているかは分からない。</p>
議長	<p>学校校長である委員さんは、各施設からの報告を聞き、どのように思われますか。</p>
F 委員	<p>直接利用していないが、本校の地域の方も多く関わっていると思う。</p> <p>学校とのつながりでは、子どもたちが気軽に足を運べるところで、大人になっても、利用したいと思えるような、子どもたちにもきっかけを与えるところであってほしいと思う。</p> <p>レフネックを受講された方が、地域ボランティアとして、たくさん関わっていただき、そこで学ばれたことが、学校に還元されればいいと思うし、受講された方も、何かに生かしたいと思われていると思う。</p> <p>学校のニーズと合えばいいと思うが、今は、直接的に入ってきていないと思う。</p> <p>今後、そのような方々が意識を学校に向けていただき、学校に入ってもらって、色々なヒントを学校に与えていただくような還元もあってほしいと思う。</p>
副議長	<p>それぞれの施設で本当に考えて事業していると思う。</p> <p>それぞれの施設に行かれた市民が、来て良かったと思われたらいいと思う。</p> <p>例え、目的外の施設に行かれても、職員や、他の来館者等と出会い、何かをもらって帰られたらいいし、目的の施設を紹介してもらえたらいいと思う。</p> <p>各施設は、そのような努力もされていると思う。</p> <p>こられた方が、違う施設で実施されている講座を必要とされている方も多いと思う。それらの一つ一つを繋ぐことを、強化する必要があるのではないか。</p>
議長	<p>事務局に確認したいことは、教育委員会には、学校支援室</p>

事務局	<p>があるが、この部門は、学校と地域社会との連携を行う上での接点になると思うのだが。</p> <p>教育委員会だよりでは、教育委員会で行われている内容や、学校と社会教育施設の連携も深めるためのものも載せている。青少年センターだよりでは、地域の方々にお世話になっている「学校安全協力員」などを紹介し、全教員に配布し、市のホームページでも閲覧可能にしている。</p> <p>現在、学校の研修テーマでは、「つながり合う」「話し合う」等のテーマで、子ども同士が相手のことを考えながら「つながり合う力」「伝え合う力」をつけるための研修を行っている。</p>
A 委員	<p>中央公民館の講座は、主事会で企画運営されますが、主事は3名で、年間の事業を行うのか。</p>
事務局	<p>公民館主事は、社会教育主事とは別で、公民館に配属された職員は、すべて公民館主事となり、各館よりメンバーが集まり、企画運営を行っている。</p>
A 委員	<p>公民館主事は、早く異動されるように感じるので、もう少し長く配属してほしいと思う。</p>
議長	<p>社会教育主事の有資格者が、社会教育施設に配属されているとは限らない。学校では、司書教諭が専属ではなく、資格をもった教科の教員が兼務している。</p>
A 委員	<p>公民館主事が長期の配属になれば、一般市民の企画運営への参加が可能であると思う。</p>
議長	<p>各施設とも一生懸命実践しており、同時に、生涯学習の分野で、学んだ人が地域づくりのリーダーになろうとするエネルギーがあるとの報告もあり、そのエネルギーを学校教育現場にどう繋げていくか、コーディネーターの論議を前回行った。</p> <p>昨年、生涯学習部がなくなり、子ども部が創設されるなど、市の生涯学習の位置づけが見えてこず、今後、地域づくり、まちづくりの視点で、各施設を統括する部門は、どこなのか、不安を覚える面があるが、どのように思われますか。</p>
D 委員	<p>体育協会の所管が、教育委員会から市長部局に移っても、それぞれに絡みがあり、大きな差はないと思う。</p> <p>しかし、「さびしさ」を感じている人もいる。</p>

	<p>体育協会の各種目協会には、教育長杯があり、年数経過による杯の汚損等については、各種目協会で購入等の対応を行ってきた。</p> <p>ただ今回、教育長の出席及び挨拶を求めた時の対応が、役所的なものであったことに対し、協会の中でクレームや寂しさを感じた人もいる。</p>
議長	<p>放課後子どもプランが苦悩されているように聞いているが。</p>
D 委員	<p>指導者的なボランティアの不足があると聞いている。詳細は、担当事務局の方から説明を。</p>
事務局	<p>放課後子ども教室は、平成20年度から子ども部へ移管され、現在、16小学校区中13小学校区で展開している。</p> <p>現在、ボランティアの人材確保と最近空き教室が無くなってきており活動場所の確保が課題である。</p> <p>活動内容は、高齢者のボランティアが多い関係もあって、学習面よりも「囲碁、将棋、お茶」等といったものが多い点が今後の課題と認識している。</p> <p>当面は、内容より、全小学校区の実施にウエイトを置いている。</p>
議長	<p>教育委員会との連携での苦悩はないですか。</p>
事務局	<p>空き教室が無くなったので、他に活動場所を求めてほしいといった問題が現場であった。そのことについて、教育委員会と市町部局との意思疎通がなかったことがあり、その点は今後の課題と認識している。</p>
事務局	<p>子ども部と教育振興部は、月に一回打ち合わせし、幼保一元化など各種課題について交流を行っている。文化部門とスポーツ部門についても、教育推進会議に出席を求めるなど、交流も必要と思う。今後、子ども部の事務担当との交流もしていく必要があると思う。</p>
議長	<p>教育推進会議は、どのような会議か。</p>
事務局	<p>教育委員会事務局内の会議で、室長級の7名で構成し、業務の進捗状況等の情報交換を行っている。</p>
議長	<p>教育委員会事務局内部の調整会議ですね。 この会に、子ども部も出席され、情報交換ができています。</p>

F 委員	<p>と、理解している。</p> <p>しかし、放課後こどもプランの所管が子ども部に移り、学校教育の現場で混乱する場面もあるのではと思う。</p> <p>行政の中で留守家庭育成クラブが子ども部になったため、現場の教職員も同じような感覚でとらえ、同じ建物にありながら治外法権のような形になる。</p> <p>同じ子どもを預かっているため、現場では、連携して、声かけをしているが、意識はまったく別物になってくる。</p> <p>電話も同じ建物にありながら、別回線になり、地域子ども教室も、教師の意識が薄いと子ども部の事業で、教育振興部とは、関係ないとの意識を持つと、非常に問題である。</p> <p>当校は、教職員も一緒にやっているため、スムーズであるが、教職員が垣根意識を持つと問題であると思う。</p> <p>議長が言われたように、行政の組織の違いが現場の意識の違いにまで行けば、社会教育の目指す方向と逆になる。</p>
事務局	<p>教育委員会も同じ思いで、先日の校長会に、子ども部の担当と指導主事に出席を願い、校長を中心に教職員、PTA及び地域の方とのつながりの中で、学童保育・放課後子ども教室及び、学校経営を行うように話をし、垣根がない方向で根付いていると思うし、その方向で指導している。</p>
F 委員	<p>放課後子ども教室は、地域のコーディネーターが育ち、教職員と一緒に進むとスムーズに運営されるが、校長や教頭などの管理職のみが運営を行うとスムーズに行かない。</p> <p>当校は、コーディネーターが運営をすべて行い、校長として、一部の案件の相談受けるだけであるので、スムーズに運営されている。</p>
議長	<p>論議が広がり、まとめるのは難しいが、次回に続けるにあたり、子どもたちと地域の方及び学校とをつなげるコーディネーターの育成が重要であると理解しているし、それをリードする行政の重要性も大切である。</p> <p>ただ、D委員の教育長杯の話は、それぞれに経緯やいきさつがあり、小さなことだけど、影響力を持っている部分があると思うし、行政が気を使っておられる部分だと思う。</p>
D 委員	<p>それぞれに経緯があるので、体育協会としてではなく、各種目協会が教育委員会と話をすることになった。</p>
議長	<p>事務局の報告を聞いて、上手にコーディネートしていただき、すごい活動をされていることが理解できた。</p>

	<p>それを踏まえて、会としても、支援していきたいし、行政も情報発信を更にしてほしい。</p>
A 委員	<p>市のインターネットは、もう少し工夫してほしい。</p>
議長	<p>子ども部の放課後子どもプランのホームページは、見るのを楽しみにしている方がいるほど工夫されている。 本日は、事務局の話を参考にしながら、今後、地域づくりを論議していけたらと思う。</p>
事務局	<p>前回の会議録の承認を願いたい。 今年度の会議日程についての配布。</p>
議長	<p>前回の会議録の承認について（全員了承） 以上で閉会する。</p>